

press release

[10月13日にロンドンで発信されたプレスリリースの日本語訳です。]

スタンダードチャータード銀行パキスタン支店、 地震による被害者救済のために100万米ドルを寄付

[2005年10月xx日、東京]英金融大手スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン)パキスタン支店は、10月13日、パキスタンで10月8日に発生した地震による被害者の救済および復興援助のために、総額100万米ドルを寄付することを発表しました。そのうち50万米ドルはパキスタンにある救済活動本部に即座に支払われ、残りは今後数ヶ月間に行なわれる復旧活動の支援のために使われる予定です。

スタンダードチャータード銀行は1863年からパキスタンにおいて地域に密着した事業を展開しており、今回も被害者の救済および復旧活動を支援する目的で同行現地社員から成る救済本部を設置しました。同時に、パキスタン国内で活動する複数のNGO団体と共に、薬品、牛乳、飲料水、毛布等の避難所への配布を始めました。

スタンダードチャータード銀行グループのCEOマーヴィン・デビスは次のように語っています。「我々グループは、パキスタンで発生した壊滅的な地震の被害状況に大きなショックを受けております。我々はこれまで140年間にわたり地域の一員として事業を展開して参りました。被害者ならびに被害者のご家族に対しては、深くお悔やみを申し上げるとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。我々グループの目標は、パキスタンの人々が出来るだけ早く通常の生活に戻ることです。我々の支援金は、被害者に対する目先の援助だけではなく、インフラおよび教育の建て直しなどの長期的なプロジェクトにも充てられる予定です」。

パキスタン支店の従業員は、地震の被害者に対して、各自が最低でも2日分の給料を寄付します。その上、パキスタンのフェイズル海軍基地にある募金所の設置にも協力しています。また、献血所の設置にも協力しています。

世界中で働くスタンダードチャータード銀行の従業員は、パキスタンの地震被害者支援のために、募金および、毛布、衣類、その他の生活必需品の提供に尽力しています。

スタンダードチャータード銀行インド支店のCEOベーター・カズミは次のように語っています。「今回の地震は、わが国にとって悲惨な大災害ですが、パキスタン支店だけでなく世界中の従業員による働きかけを大いに誇りに感じております。世界56カ国にまたがり事業を展開する組織によるこのような支援の声は、コミュニティーの一員として非常に心温まるものです。地震により最大の被害を受けた村々にある住居および学校の復旧作業を通じた長期的支援のためにNGOと協力する所存です」。

お問合せ先:

Niall Mcloughlin
Regional Head of Corporate Affairs
Standard Chartered Bank
Tel: +971 (0) 4 5070467 Fax: +971 (0) 4 3594174
Email : niall.mcloughlin@ae.standardchartered.com